

科目名	一般教養B 2							年度	2024
英語科目名								学期	後期
学科・学年	放送芸術科 1年次		必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※
担当教員	畠 雅代		教員の実務経験		なし	実務経験の職種			

#### 【科目的目的】

特に放送業界報道業務、あるいはドキュメンタリー制作バラエティ制作においては海外での撮影の機会が発生しうる。最低限英語でのコミュニケーションが取れることは非常に有益であり、日常的な会話にとどまらず専門的な（映像では常識的な）会話を習得することを目的とする。

#### 【科目的概要】

この授業では、文法ではなく、単語の羅列であっても会話を前提としたトレーニングを行う。

#### 【到達目標】

日常会話検定の合格を目標とする。撮影時のやり取りなどに特化したテキスト、試験の実施。

#### 【授業の注意点】

教員は、学生の勇気をもって発言した内容を否定しない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

#### 評価基準＝ループリック

ループリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A ヒアリング	何を言っているか完全に理解している		ある程度は言っていることがわかる		何を言っているか理解できない
到達目標 B 知識	映像の専門用語を、日本語と英語で理解できている		ある程度の専門用語を英語で理解している		英語での専門用語を理解していない
到達目標 C スピーキング	映像の現場における挨拶や簡単な会話を英語で話せる		映像の現場において最低限の挨拶は出来る		映像の現場で固まっている

#### 【教科書】

#### 【参考資料】

#### 【成績の評価方法・評価基準】

期末試験

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	一般教養B 2			年度	2024		
英語表記				学期	後期		
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評 価		
1	資格と授業の説明		資格と授業の説明	日常的な会話力を身につけることを目的とすることを理解する			
2	あいさつ 日常的な会話		あいさつ	オーソドックスな中でのバリエーションや端折り方を学ぶ			
3			日常的な会話				
4	撮影現場でのやり取り ①		静止画、動画の撮影許諾	人物の肖像の許諾、場所の許諾、映り込みの許諾、撮影のお邪魔などなど			
5			撮影現場でのやり取り ②	撮影現場での 専門的な言葉、言い回し、流儀を学ぶ			
6			やり取り ①				
7	休憩・食事シーン		撮影現場でのやり取り ③	撮影現場での 俳優とのコミュニケーションを学ぶ			
8			やり取り ②	やり取り ③			
9							
10	編集現場でのやり取り ①		休憩・食事シーン	撮影現場での 様々な食事の場面を想定し、言い回しを学ぶ			
11							
12							
13	編集現場でのやり取り ②		編集現場でのやり取り ①	撮集現場での 特に使用する機材の名称などを学ぶ			
14			やり取り ①	やり取り ②			
15							
11	日常的な屋外でのやり取り①		日常的な屋外でのやり取り①	撮集現場での 作業における定型句含めた言葉の定型表現			
12			やり取り ②	やり取り ③			
13							
14	日常的な屋外でのやり取り②		日常的な屋外でのやり取り②	撮集現場での 作業における定型句含めた言葉の定型表現			
15			やり取り ③	やり取り ④			
16							
17	日常的な屋外でのやり取り③		日常的な屋外でのやり取り③	撮集現場での 作業における定型句含めた言葉の定型表現			
18			やり取り ④	まとめ・総括			
19				ここまで内容の確認を行う			
20	日常的な屋外でのやり取り④						
21							
22							
評価方法	1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価	S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等							